

# 今後の本市の行財政運営について

角張 大治



根拠を伺う。

〔質問〕令和5年度から国民健康保険税率引き上げ、前年度は給食費の引き上げも検討された中、市民生活に直接影響する施策の充実を図るべきと考えるが、市の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕令和5年度予算は、限りある財源の「選択と集中」を意識し、市民生活に直接影響のある施策にも配慮している。

◎白石市スポーツ・レクリエーション施設個別施設計画について

〔質問〕本計画書の評価結果で、今後の利用見込みを6施設中5施設で「増加・横ばい」とした

いよう、公共施設の役割や利用実態を検証した上で、財政状況に見合うように減らすことも考えるべき」との回答が74.4%であった。

市の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕人口減少の進展とともに、施設利用者数も減少傾向にあるが、複合化、集約化、用途転用等の方向性決定には年月を要する。

二一ズの変化等を把握する際は、市民アンケートも参考にしたい。

〔質問〕公共施設等総合管理計画に、施設の延べ床面積を「何年間で何%削減」等と定めた自治体もある。本市は数値目標を立てる等の見直し予定はあるか。

〔答弁〕〔市長〕市域が広範囲、かつ、地域ごとの特色がある本市における数値目標設定は難しいと感じている。

また、「将来の世代に負担を強いることのない」

# 新議会に対する市長の所感と期待について

四 竈 英 夫



にとつて最善な結論を見いだしていきたい。

◎市民プールの新設について

〔質問〕7月に改選された新しい議会に対する所感を伺う。

〔答弁〕〔市長〕新たな議会に対し身の引き締まる思いである。行政と議会は車の両輪である。それぞれの立場で市民の負託に応える努力をしていきたい。

〔質問〕新しい議会とどのような連携を図り、市政運営を図っていく考えか伺う。

〔答弁〕〔市長〕持続可能な白石市をつくるため、課題を先送りせず積極的な市政運営を続けていく。議会からもさまざまな提案をいただき、行政と議会のそれぞれの立場で議論を重ね、市民

〔質問〕今年度の夏は連日猛暑日が続く、夏休み中やプール授業に苦慮されたと思うが、本市独自のプール建設についての考えを伺う。

〔答弁〕〔教育長〕本市の学校プールは築30年以上のものがある割合を超えており、限界に達している。教育委員会として、通年全天候型のプールの建設を市長に要望したところである。

〔質問〕独自建設の場合の規模、運用の方法を伺う。

〔答弁〕〔副市長〕教育委員会からの要望を受け、庁内に「市民プール及び小・中学校プールの在り方検討会」を設置し検討している。小・中学校共

同利用の全天候型25mプールで、市民も利用できるところを想定している。

〔質問〕建設予定候補地はあるのか伺う。

〔答弁〕〔副市長〕地理的、地盤などの条件を考慮して検討していく。

◎小中学校の統合について

〔質問〕児童・生徒数の減少に伴い、今後10年間で小中一貫の中規模校、小規模校、不登校特例校に再編する答申がなされているが、見解を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕白石市学校教育・保育審議会からの答申は、幅広い層の委員により出されたものであり、大変重いものであると認識している。

〔質問〕大幅な再編案であるが、PTAなどの理解を得る方策を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕説明会を開催し、幅広い層に対して丁寧な説明を行い、ご意見やご理解をいただきたいと考えている。